



8月は熱中症特別警報や熱中症警戒アラートが発令された日が多くあり、それによりプールあそびの回数が少なくなりました。8月末でプール納めとなりましたが、まだまだ暑さが続きそうです。園庭で水を使った感触あそびやシャワーなどで残暑を楽しく過ごしていこうと思います。涼しくなり秋の気配が感じられる頃にはお散歩にも出掛けることが多くなります。運動の秋、食欲の秋、〇〇の秋、▲▲の秋など、秋にも楽しみがいっぱいあります。引き続き体調管理のご協力をお願いします。

1・2歳のくつ選び

散歩に出掛けることが多くなります。子どもたちの成長に合わせて、くつ選びが大切になってきます。

サイズの合わないくつやデザイン優先のくつは転倒やケガの原因になるだけでなく、子どもの足の骨や体全体の成長を妨げます。子どもの成長は早いので、シーズンごとにきちんとサイズを測り、足にしっかりフィットするくつを選びましょう。

また、くつの中を衛生を保つため、くつ下を用意して下さい。裸足でくつをはくと、くつずれやマメの原因にもなります。



- つま先が広く、反り返っている
- 指先に約7~8mmのゆとりがある
- 足の甲の高さがきちんと調整できる
- 足の動きに合わせてソフトに曲がる

立った姿勢でははいてみてチェック!

- 歩き方が不自然ではない? 痛いところはない?
- かかとがぶかぶかしていない?

下痢について

秋から冬にかけて下痢を伴う風邪が流行することがあります。

「感染性」のものは、ウイルス性胃腸炎(ノロ、ロタ、アデノ)があり、「検査」をしなければわかりませんが、医師の判断によります。その場合、潜伏期間が数時間~1日、または2日間と短く「感染力は最強」です。症状が回復しても、約1ヶ月くらいは便にウイルスがいると言われてます。

園としては、下痢3回以上を目安にお迎えをお願いしています。そして早めの受診をお願いしています。また、脱水症状の予防として、お子さんにこまめに水分補給をしています。

保育園は集団生活となりますので、下痢症状が落ち着くまで、なるべく自宅療養が望ましいと言えますが、病児保育を利用されることも参考になさして下さい。



9月1日は「防災の日」です

園では火災、地震、津波、不審者などを想定して、毎月避難訓練を行なっています。非常災害はいつどこで起こるか予想がつかないものが多いです。

先月行なった訓練では台風により停電が起こった想定をしましたが、冷房、冷蔵庫、電磁調理器、ガス給湯器など電化製品がストップすると大変な事態になることを職員間で確認しました。

ご家庭でも急な災害に備えて、避難方法の確認や防災グッズの点検をしておきましょう。

9月の身体測定予定
20日(水)

身長・体重の計測は、毎月行います。
結果を身体測定表に記入しています。



8月の感染症

コロナウイルス	1名
手足口病	3名
ヒトメタニューモ	2名



幼少期の 味覚の育て方

大人でも、初めて経験する味や歯応えに抵抗があるのは自然なこと。味覚は経験によって幅を広げるものです。幼児期のうちに、さまざまな味に触れるきっかけ作りをすることが大切です。農業体験に参加して、とれたての野菜を味わってみたり、親子で食材の仕込みや調理をする機会をもってもよいですね。味見の手伝いをお願いするのも、身近なきっかけになります。

だしのうまみで 味覚を育てる

わたしたち日本人には、甘味・辛味・苦味・酸味に加えて、「うまみ」という味覚があり、乳幼児期は、このうまみを育てていくとても大切な時期でもあります。例えば、かつおやこんぶ、いりこなどのだしをていねいにとると、うまみ成分の効果が素材そのもののおいしさを引き出してくれ、少しの調味料でもおいしい味わいになります。また、食材の水分で加熱調理し、できるだけ水を足さない工夫も、調味料を控えながらおいしく作るコツ。うまみが味わえる調理法も工夫してみましょう。



おすすめメニューレシビ 《チンゲン菜の甘酢和え》

■材料(4人分)

チンゲン菜	140 g
人参	20 g
もやし	80 g
しょうゆ	7 g
酢	5 g
みりん	4 g
砂糖	3 g

■作り方

- ① 調味料を合わせておく。
- ② チンゲン菜、人参、もやしは食べやすい大きさに切り、茹でる。
- ③ ②をaで和える。



9月の交通安全

秋のさわやかな風を感じながら親子で散歩を試してみるのもいいですね。交通ルールを守り、横断歩道の歩き方等、再確認しましょう。

信号機のない横断歩道では、運転者に手をあげる、手のひらを見せる等横断する意思を伝えましょう。

